

花の都公園

花の都公園から期待できるものは、大きく広い空の下に咲き誇る花畑とこの公園のどこからでも見ることができる、西 20km のところにある富士山というシンプルなものです。12 月から 1 月の来訪者は、富士山の頂上の向こうに太陽が沈むときに見える、有名な「ダイヤモンド富士」の景色を期待できます。

この公園は、標高 1000 メートル弱のところであり、冷涼な気候により開花する時期が近くの東京より 1 ヶ月ほど遅れます。1 年の中で最初に咲く花は、4 月後半に咲くチューリップです。そして、ネモフィラ、かすみ草、ポピー、ひまわりなど様々な花が続きます。9 月には収穫祭が開催され、紅葉は 10 月から 11 月初頭まで楽しむことができます。冬になるとこの公園では毎晩イルミネーションファンタジウムというイベントでライトアップされ、このイベントには毎週末の花火も含まれています。

この公園の東の端には全天候型温室フローラルドームふらら、滝、そして溶岩樹型が数多くある地下室があります。溶岩樹型は樹木が溶岩流に飲み込まれた際にこの公園の地下にある火成岩に開いた空洞です。これらは、この公園の建設中に発見され、来訪者が直接見ることができるようにそのまま保存されたのです。